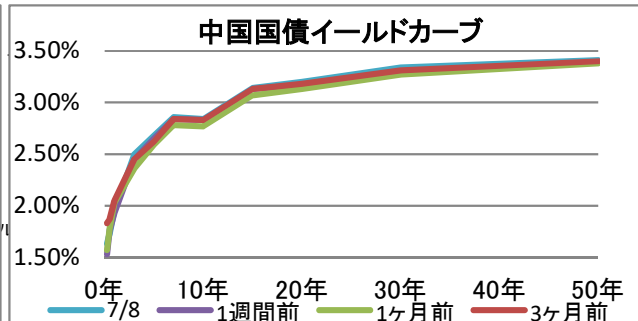
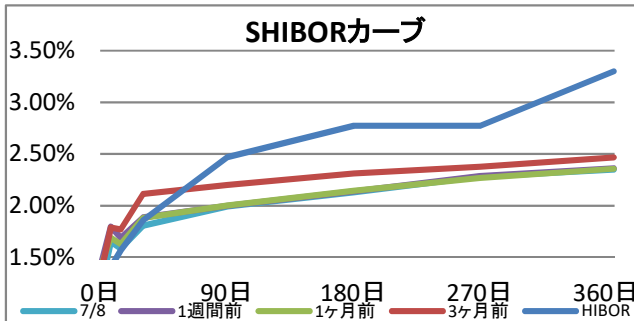


基準レート		2022/7/8	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7098	+0.0235
	JPY/CNY	4.9334	+0.0095
SHIBOR	3M	1.9925%	-0.0075%
国債利回り	10年	2.84%	+0.01%
上海総合指数		3,356.08	-31.56



(1) 概況

国際金融市場では、金曜日の米国雇用統計に向けて前週見られた急速な金融引き締めによる景気鈍化懸念の巻き戻しが入る展開。前週の流れとFOMC議事要旨がタカ派的な内容ではなかったことから債券利回りの低下が続いていたものの、雇用統計を前に債券が売り戻され（利回り上昇）、雇用統計が予想を上回る改善となったことから、米10年国債利回りは3%台に戻し、欧州の債券利回りも上昇に転じている。外為市場の値動きは引き続き限定的。

中国金融市場では、景気回復期待とコロナ感染再拡大への懸念から動き難い状況となり、株式市場、債券市場ともに小動き。外為市場では、米中の関税引き下げ期待後退と金利差再拡大によりドルが底堅く6.7台中心の小幅な値動きに終始。

中国では、ロックダウン解除後の景気回復が経済指標でも確認できる状況となったものの、コロナ感染再拡大による影響が懸念される状況となった。中国政府は、自動車や不動産の購入の支援策実施に加え、一部では2023年の専項債の前倒し発行による景気対策が検討されているとの報道も。中国人民銀行は香港との通貨スワップ協定を強化し、ETFコネクトを開始し、Swapコネクト（金利スワップ）を6ヶ月以内に開始する方針を示し、香港の世界金融センターとしての地位向上と中国金融市場の対外開放に向けた対応を強化している。また、バンカー誌の銀行ランキングで中国の銀行の財務の充実ペースに注目が集まっている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、四半期末の6月末越えとして供給を拡大していたリバースオペ期日4,000億元に対し、新規リバースオペ150億元により、ネットで3,850億元を吸収している。

(3) 主な経済指標

- ・財新サービス業PMI（6月）は54.5（5月、41.4）と、4ヶ月ぶりに50を回復。新規受注と将来期待は大幅に改善したものの、外需と雇用の回復は鈍い。総合PMI（6月）も55.3（4月、42.2）と1年半ぶりの大幅改善で50を回復。
- ・CPI（6月）は、前年比+2.5%（5月、同+2.1%）と、前年比では若干上昇しているものの、前月比では横ばい。燃料価格上昇の影響が和らぎ、食品価格が落ち着いていることによる。
- ・PPI（6月）は、前年比+6.1%（5月、同+6.4%）と依然高水準の伸びながら、上昇幅は8ヶ月連続で縮小し、前月比でも3ヶ月連続で上昇幅縮小。購買価格（前年比+8.5%）、出荷価格（同+7.5%）とも高水準ながら上昇幅は縮小（引き続き購買価格の上昇が相対的に高い状況）する一方、生活品価格（同+1.7%）は水準は低いものの3ヶ月連続で上昇幅拡大。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2160%	1.4000%	1.4000%	
1W	1.6510%	2.4000%	1.4500%	1.4500%
2W	1.5860%	1.9500%	1.9500%	1.4500%
1M	1.8070%	1.8000%	1.7500%	1.6100%
3M	1.9925%	3.0000%	2.0000%	1.9000%
6M	2.1300%	2.5000%		2.1500%
9M	2.2800%	3.2000%		2.1900%
12M	2.3490%	3.7000%		2.3000%

中国人民銀行は大量に供給していた6月末越えの資金を吸収するために新規オペを極端に減額したものの、金融システム内の資金需給に問題はなく、債券発行の減額と財政政策資金の流入への期待から、金利水準は安定的に推移。ターム物の出合いは1ヶ月の1.90%前後を除き限定的。

NCDは、月初の資金余剰と資金需給見通しの安心感から金利水準は安定推移。ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.6%台、3ヶ月は1.90%前後、6ヶ月は2.15%前後、1年は2.3%台前半で安定している。

(2) ミドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	1.53%	1.55%
1W	1.60%	1.65%
1M	1.80%	1.90%
3M	1.50%	1.60%
6M	2.60%	2.80%
12M	3.10%	3.30%

米国の雇用統計を金曜日に控え、米国の景気後退懸念やFOMC議事要旨がタカ派的ではなかったこと等から急速な金融引き締めへの懸念が後退する局面も見られたが、中国国内市場は短期取引中心でターム物は1ヶ月の1.8%台での出合いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.63%		1.81%	1.97%	2.15%
6M	1.73%		2.11%	2.14%	2.33%
1Y	1.96%	2.05%	2.34%	2.40%	2.62%
3Y	2.50%	2.64%	2.84%	2.90%	3.25%
5Y	2.68%	2.87%	3.12%	3.27%	3.93%
10Y	2.84%	3.09%	3.43%	3.63%	4.40%

債券市場では、足下の資金需給は安定しているものの、経済回復を示す指標や経済支援強化に向けた債券前倒発行懸念や米国債利回りが中国を上回っていることもあって、中国の債券利回りは下げ渋る状況が続いている。米国債利回りは上昇に転じており、中国10年国債利回り2.84%に対する上回り幅が再度拡大に転じた（米10年国債利回りは7/1の2.88%から7/7に2.99%、7/8には3.08%に上昇）。

イールドカーブは、水準に変化はないものの、四半期末を越えたこともあって調整が入って区々の展開。クレジットスプレッドは利率債増発懸念による利率債利回り上昇による縮小が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	-3.8 / -3.5
1M	-17.0 / -15.0
3M	-75.0 / -71.5
6M	-190.0 / -175.0
9M	-300.0 / -274.0
12M	-365.0 / -355.0

対ドル基準レートは6.7098と前週末比+235pipsのドル高元安、対円基準レートは4.9334と同+95pipsの円高元安と、対ドルでは底堅く概ね6.7台での小幅な変動での設定が続いた。中国国内市場では、週前半は米中金利差縮小と米中関税引き下げ合意への期待から6.68台までの元高となったものの、関税引き下げに対する期待の後退と米中金利差の再拡大や中国国内でのコロナ感染再拡大、更に週末に雇用統計を控えていることもあり、ドルが6.70台後半まで買い戻されている。

先物は、週前半は米国の急速な金融引締めへの警戒が後退して1年物が-100台まで上昇したものの、雇用統計を控えて警戒感が高まり、週後半には1年物が一時-400程度まで戻す展開となった。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.90%		1.76%
6M	2.03%	2.16%	1.85%
9M	2.13%	2.30%	1.94%
1Y	2.19%	2.42%	2.00%
3Y	2.48%	2.83%	2.00%
5Y	2.67%	3.13%	
7Y	2.81%	3.30%	
10Y	2.96%	3.46%	

スワップ金利は、中長期の債券利回りが上昇が続いていることを受けて小幅上昇が続いている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、短期金利の低下を受けて小幅な縮小が続いている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。